

大学 アドミニストレーター × Technology を考える

× Tech (クロステック) から読み解く職員の未来

第四次産業革命 (AI、IoTの進展)、ITの発展に伴い、多くの仕事がテクノロジーに置き換えられ、人間の仕事の再構築がはじまるといわれている。一方、18歳人口の減少など大学を取り巻く環境だけではなく、社会の構造は今後も大きく変化していくことが想定され、大学の経営環境は決して明るい見通しがあるわけではない。こうしたなかでも、職員の若手世代を中心とした、将来の学校法人・大学を担う世代の職員は、どのような役割を担い、どのような仕事に向き合っていくことになるのだろうか。教育、研究、職員業務などの各分野における×Tech (クロステック) 活用事例報告をふまえ、今後の大学のあり方、大学職員の業務の高度化、について考察する。

2018年 **5/18** [金] 13:00-16:00 会場 立命館大学 朱雀キャンパス (5階大講義室)

対象者 ● 政策立案トレーニング受講生 (本センター主催職員研修) ● 立命館教職員 ● 他大学教職員 ● SDや本テーマに関心のある方など

プログラム

13:00 - 13:15

開会挨拶 学校法人立命館 大学行政研究・研修センター 事務局長 藤井 元

13:15 - 14:45

事例紹介 (話題提供・問題提起) [1人30分×3人]

15:05 - 15:55

パネルディスカッション

- 「今後の大学に求められる役割」
- 「× Technologyを駆使する側に求められるもの」
- 「大学アドミニストレーター× Technologyの可能性」

事例講師 & パネリスト

有限責任監査法人 トーマツ
アドバイザリー事業本部

永田 正孝 様

立命館大学 情報理工学部

高田 秀志 教授

早稲田大学
人間科学学術院

向後 千春 教授

コーディネーター

学校法人立命館 常務理事
西川 幸穂

シンポジウム参加費：無料

シンポジウム定員：200名程度 (定員になり次第、受付を締め切ります)

お申込方法：①参加される方のお名前、②所属大学・機関、③部署・役職、④所在地、⑤電話番号、⑥E-mailアドレスを、adm-c@st.ritsumeikan.ac.jp宛にご連絡ください。

お申込期日：5月15日 (火)